

なくせ全国最低の医療

なくすな住民がつくった県立病院

1月21日、千葉県民連絡会は、県健康福祉政策課などに「県立地域3病院の存続・充実と、県内自治体病院の支援、地域医療の充実を求める要望書」を60人で提出し要請しました。

医療崩壊そのまま、県が地域撤退

県は、「地域医療を守るのが責務。国の社会保障費削減に反対してきた」との姿勢を示しました。しかし、医療崩壊の発信源である県立地域3病院への「常勤医確保の見通しが無い」と回答。そして、「県立病院は高度医療をになう。地域医療は地域で行う」「3病院は民間譲渡も検討する」と地域医療からの撤退計画を示しました。

また、県内自治体病院には、「対策本部で支援している」としながら「医師が足りない数字は持っていない」とお粗末な実態が明らかとなりました。参加者は「赤字だからと住民が協力してつくった県立病院をなくすな」「最低の医療水準こそなくせ」と強く迫りました。



医療守れと県を追及

病院つぶし許さない要請行動を

参加者は、今回の行動を出発点に、国が進める病院つぶしの計画を地域でつかみ、医療守る自治体要請行動を緊急に取り組むことを確認しました。

東金・佐原など病院廃止発表

1月28日、県が計画素案を発表しました。2月に意見公募を実施し3月25日の会議で決定するとしています。「病院なくすな。地域医療守れ」の声を届けましょう。

1. 31香取学習会に100人参加

1月31日、香取地域の医療をよくする会が佐原病院や小見川病院の統廃合計画から病院を守ろうと学習会を開催。香取市長が参加しあいさつしました。

2. 2山武で自治体要請

2月2日、山武地域の医療をよくする会が、財政危機の「成東病院の縮小・民営化やめ公立公営守れ」と4市町に訪問要請しました。



参加者で宣伝、署名行動

地域医療と公立病院を守る千葉県民連絡会

2009年2月 代表・須河内省三

千葉市中央区長洲1-10-8

自治労連千葉県本部内TEL 043-227-9393

93

地域医療を守る要望書を知事に提出



1. 緊急な医師確保で東金病院、佐原病院、循環器病センターの一般病床再建。
また、地域医療からの撤退でなく県立3病院を存続充実。
2. 県内自治体病院の医師・看護師の確保と財政支援。
また、統合縮小や民営化を押しつけず公立公営で存続充実を支援。
3. 県立病院や県内自治体病院、地域医療体制の充実のための予算増。
また、国に必要な予算を増やすよう求める。

県が回答

「地域医療守るのが責務」 ところが「県立病院撤退」

要請内容（後日に文書で回答があります）

連絡会の質問・要望	県の回答
1. 自治体病院の休止・縮小で医療崩壊である。地域医療再建の姿勢を示せ。	医師不足、予算削減で地域医療が厳しい。地域医療を守るのは責務である。国の社会保障費削減に反対してきた。必要な予算は確保すべきだ。
2. 東金・佐原・循環器病センターの医師不足は深刻。緊急に確保せよ。	千葉大が医師不足で派遣してもらえない。来年度の常勤医の採用はない。非常勤で対応する。研修医確保では、初期研修医が現在20人で来年度は15人増。後期研修医は24人で来年度は9人増。東金病院が3人、佐原病院が1人、循環器病センターが7人。
3. 地域医療からの撤退でなく県立地域3病院の存続充実を。 ①検討会報告書は、東金と佐原病院を再編・ネットワーク化ができない場合に経営形態を見直すとする。循環器病センター一般病床はどうするのか。具体的に示せ。 ②医療過疎地域の中核病院で廃止に反対だ。市町村だけでは医療は守れない。県立病院の存続充実を求める。	①保健医療計画では、（地域医療は）新たな枠組みで行う。地方独立行政法人や指定管理者制度、民間譲渡など幅広く検討している。 ②県立病院の医療資源は限られている。地域医療は地域（市町村）で行い高度医療を県立病院が担う計画である。山武地域では、（市町で）医療センター計画があり地域だけではできないので破格な財政支援を行うことにしている。
4. 千葉の医療は最低水準。県内自治体病院の医師・看護師の確保、財政支援を。 ①医師・看護師の不足数、今後の確保支援策を示せ。 ②25自治体病院の数病院で経営改善必要とした。改革計画の策定状況を示せ。 ③銚子市立総合病院は財政支援がなく休止した。民営化などでなく緊急に財政支援を。成東病院は支援を求めている。	①医師数が少ないのは承知している。特に山武夷隅長生の対策は必要である。（自治体病院の）どこの医師が足りないという数字は持っていない。千葉大医学部の定員が10人増となるが就学金の貸付などで医師確保を行っている。 ②自治体病院ごとで計画をつくっている。 ③自治体病院対策本部を設置し支援している。成東病院は貸付を検討している。